

【栄養科】

「食事(栄養)」は、すべての治療の土台となる大切な要素です。

患者様の「一日でも早い回復」のために、栄養状態の改善を目標として、実際の食事場面を見ながらサポートする仕事をしています。

<栄養管理>

全ての入院患者様に対して、入院時の栄養スクリーニング(低栄養または低栄養のリスクがある方を特定するプロセス)や栄養アセスメント(管理栄養士などが実施する詳細な栄養状態の評価)を行い、患者様の病状や体調を考慮した「栄養管理計画書」を作成し、それを元に食事の提供を行います。

さらに、重点的な栄養管理を必要とする患者様に対しては、褥瘡(じょくそう)・摂食委員会(多職種と連携した栄養サポートチーム)と協力して対応しています。

<給食管理>

「栄養摂取基準」に基づいた献立を作成し、各疾病に応じたメニュー展開で食事を提供しています。

- ・食物アレルギーや偏食への対応や食事形態の変更
- ・摂食機能訓練食(食べ物を飲み込む練習のための食事)
- ・七美食(食欲低下の患者様へ特別個別対応食)

調理業務は、給食委託会社に業務委託しておりますが、献立作成は栄養科の病院管理栄養士と共同で作成しています。毎月「献立会議」を行い、行事食はもちろんイベント食など、患者様に喜んで頂けるメニュー作りを目指しています。

<栄養指導>

医師から食事指導が必要とされた方へ、医師の指示に基づき、症状ごとに必要な食生活改善のお話をさせていただきます。また、「何をどのくらい食べたらいいか分からない？」などの食生活に不安や疑問がある方からの相談も受け付けています。

一方的な指導にならないよう、患者様の生活に合った食事のお話ができるよう心掛けており、指導後も、不安や疑問がありましたら何度でもご相談ください。

食事についてご不明な点がございましたら、医師・
看護師へご相談下さい。

栄養指導は予約できます。他の予約が入っていない
ければ、即日お話をさせていただきます。

